

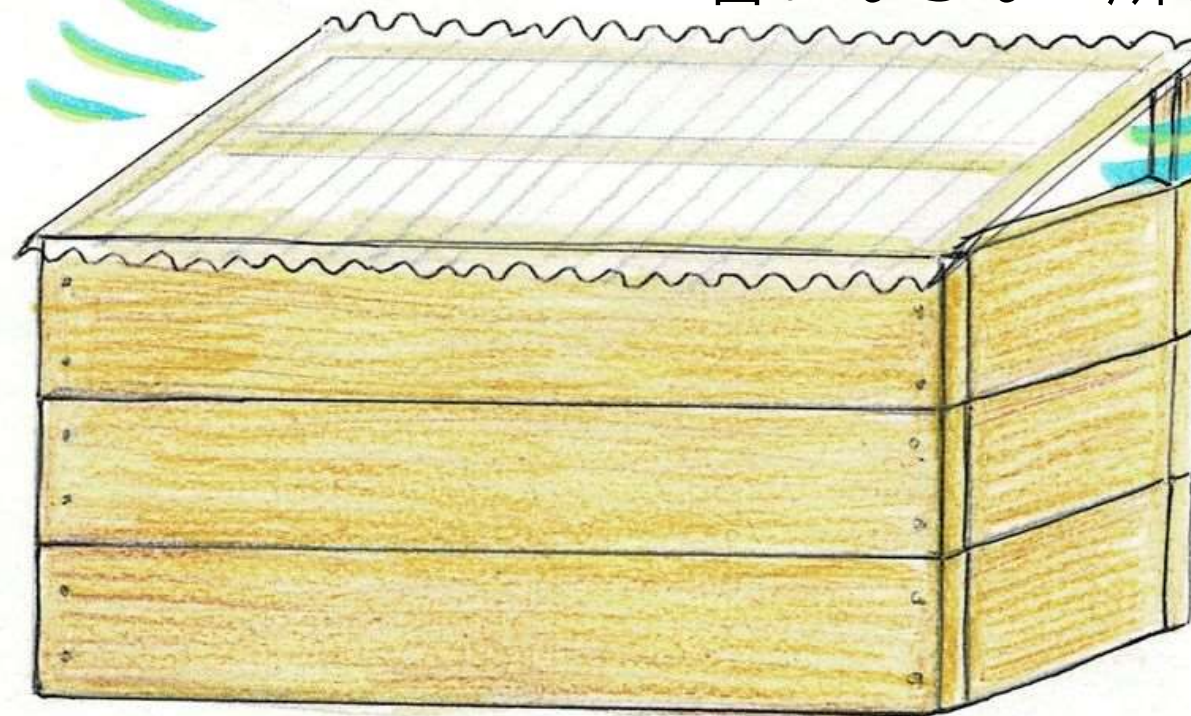
キエーロの上手な使い方

土と水とお日さまと風と生ゴミがあれば、微生物が分解してくれて生ゴミが消える！

置く場所のポイント

- ・日あたりがよく
- ・風通しがよく
- ・生ゴミを入れに行くのが苦にならない所に置く

家庭ゴミの3割を占めているといわれる、生ゴミ。生ゴミはその約80～90%が水分であり、処分には多くのエネルギーを必要とする。キエーロを使えばゴミが減るよ～♪



循環型社会を目指そう！



キエーロを使う

1. 土、竹チップなどを7～8分目入れる。
2. スコップで20cmくらいの穴を掘り、生ゴミを入れる。
3. 生ゴミと土をよく混ぜる。

細かくすると
分解が早いよ

土とふれあうことで、分解が進む。水気が足りない時は、水分補給。

4. かわいた土をかぶせる。

表面の土がかわいていたら、臭いを防ぎ、虫もわきにくい。

前に埋めた所も、空気を入れるように混ぜるとよい。

生ごみをふた付き容器に
入れると虫がきにくい！
3～4日分ためてOK

ためておいた生ゴミを
埋める場所を変え
ながら入れる

500～
800g

スコップで生ごみと
土をよく混ぜて、
水も少し入れると
良いよ

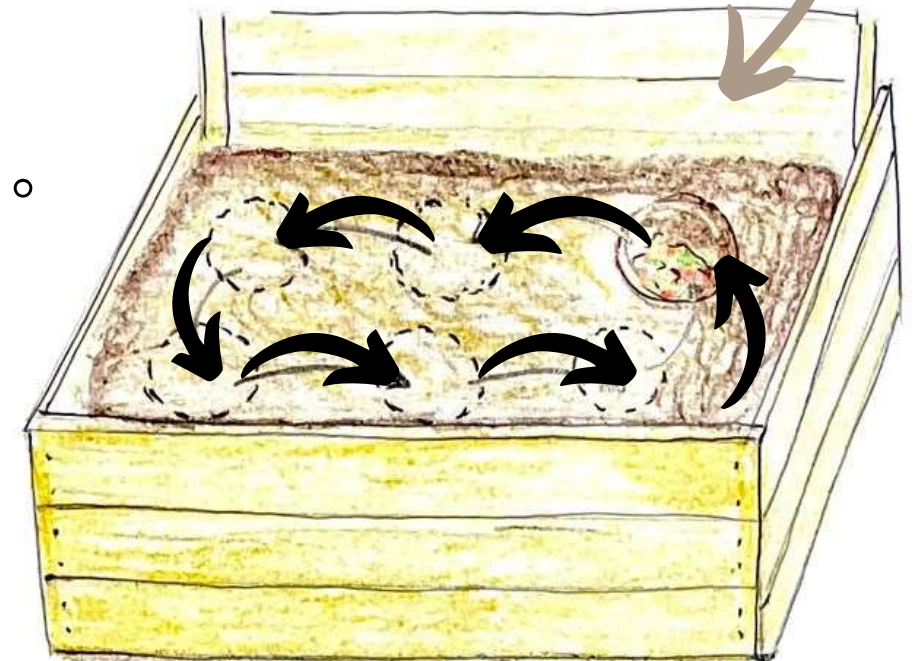
畑や花だんに堆肥を使う

分解するまで、夏は3～5日 冬は10日～2週間

夏は約1ヶ月で堆肥ができる。

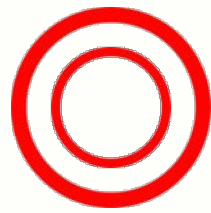
- 2台あれば交互に1ヶ月寝かせる。
- 1台を半分に仕切って、半分ずつ堆肥を使う。
- 上の方をとり出して、下の方の堆肥になっている所を使う。

☆堆肥として使わなくてもOK！生ごみは分解して消えていきます！

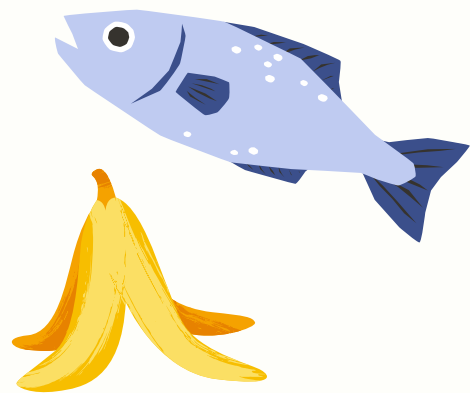


キエー口の好きなもの・嫌いなもの

好きなもの
(分解が早い)



傷んだ野菜や果物、火を通した野菜、魚の内臓、生肉・脂、パン、麺類、煮汁、味噌汁、カレーなどの残り物、傷んだ弁当や残飯、揚げ油など廃食油、お菓子、ジャム、バター、ヨーグルト、残った揚げ物、もみガラ、米ぬか



苦手なもの
(分解が遅い)



刻んだ野菜くず、じゃがいもなどの野菜の皮、りんごなどの果物の皮、火を通した魚や肉、固まったご飯・麺類、お茶ガラ・コーヒーかす、海老の殻

玉ねぎの皮、キャベツなど野菜の芯、かんきつ類の皮、トウモロコシの芯、枝豆のさや、スイカの皮、生の根菜類、昆布、魚の大きな頭や小骨、卵の殻、カニの殻

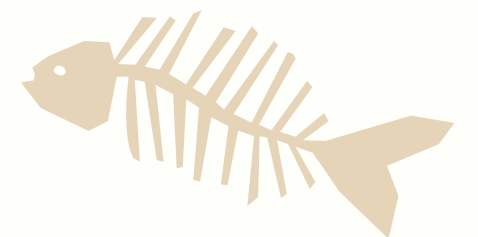
嫌いなもの
(分解しない)



鳥の骨、タケノコやとうもろこしの皮、落花生の殻、栗の皮、梅干しの種、アボカド、桃などの大きな種、アサリやカキの貝殻類、魚の大きな骨

いつか消えてなくなるものと

いつまでもなくなるものがある



キエーロ



- ?** 虫や臭いが出たら時は

 - ・ 土を20～25cm掘って埋める。
 - ・ 生ゴミと土をよくかき混ぜる。
 - ・ 必ずかわいた土をかぶせる。
 - ・ かわかしたコーヒーのカスをまく。
- ?** 生ゴミがなかなか消えない

 - ・ 1度に埋める量が多いのかも。
500～800gくらいが適量。
 - ・ 生ゴミを細かくして埋める。
 - ・ 土とよ～くかき混ぜる。
 - ・ 水分が少ないと分解が進みにくい。ゴミを入れたら、ゴミ容器を水ですすいで、その水も入れてみて。
- ?** アリが来てしまったら

 - ・ アリやダンゴムシは有機物を分解してくれる生き物。そのまま、見守る。
 - ・ スコップでキエーロの外へ出す。
 - ・ どうしても嫌なら熱湯をかけて駆除。
- ?** 冬は分解スピードが遅いけど…

 - ・ 埋めるゴミの量を少なめにする。
 - ・ 台所でためて容器の中で一次発酵させる。
 - ・ 温度が下がると微生物が活動がゆっくりになるので、米ぬか、食用の廃油を入れて土の温度を上げる。
 - ・ カロリーの高いもの（脂、魚の内臓）など入れる。
- ?** マニュアル通りやっても、どうしても解決しない時や、わからない事があったら？

 - ・ 微生物が活発になる季節に、また始めてみる。
 - ・ 鋸南ゼロウェストを目指す会に相談してください。

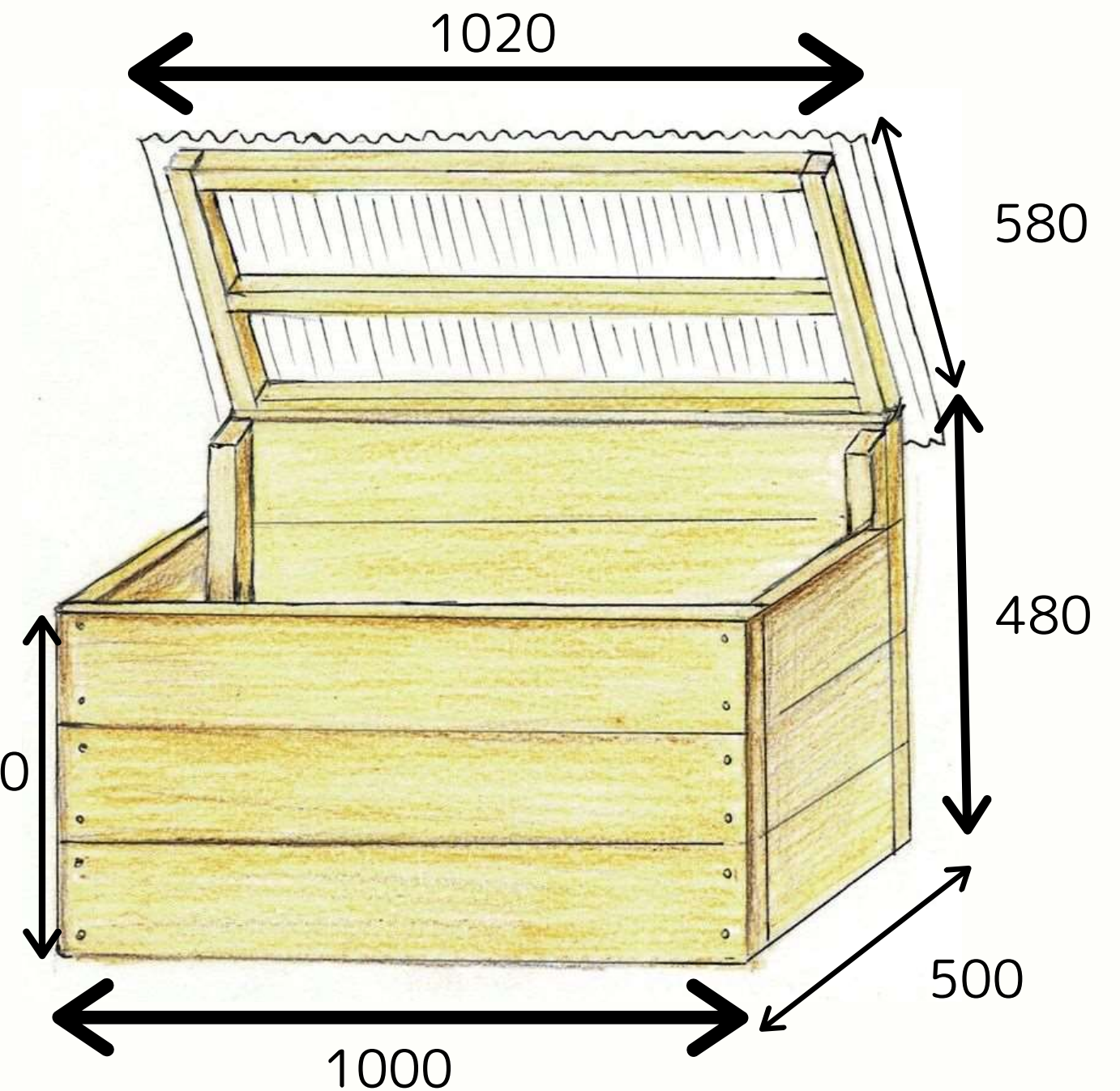
Eメール zero.kyonan@gmail.com

キエーロの作り方



材料 単位mm

本体	30×120×1000	7枚	3.8×50	28本
手順板	30×120×500	6枚	3.8×65	24本
①				
② 角	30×40×480	2本	3.8×50	3本
③ 材	30×40×360	2本	ストッパー用	
			200くらいの角材	
屋根	30×40×960	3本		
手順板	30×40×580	2本	3.8×65	12本
④			蝶つかい	2個
⑤ 波	660×650	2枚	ステンレス傘釘	
⑥ 板 (透明ポリカ)			(38)	18個



※木表を表面にする。

※底はなし。

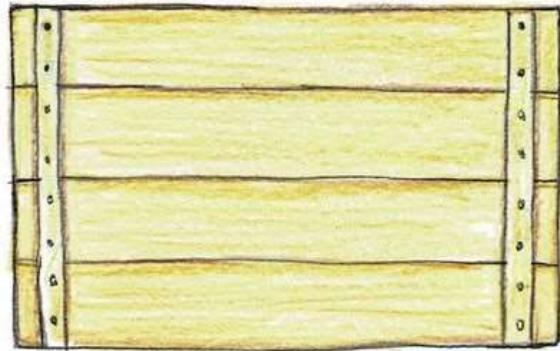
庭や畑の土の上に直に置くタイプです。

バルコナやデッキなどに置く場合は底を作って使用。

大きさ、形は自由に変えてもOKです!

作り方の手順

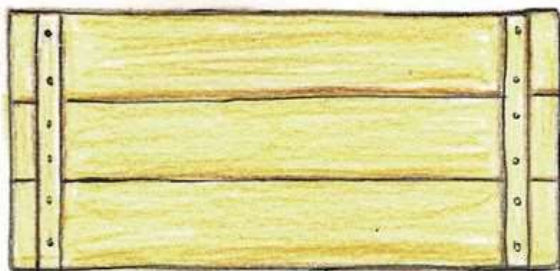
30



① 表側を下にして、えんぴつで印をつけ、角材を置いてビスで止める。

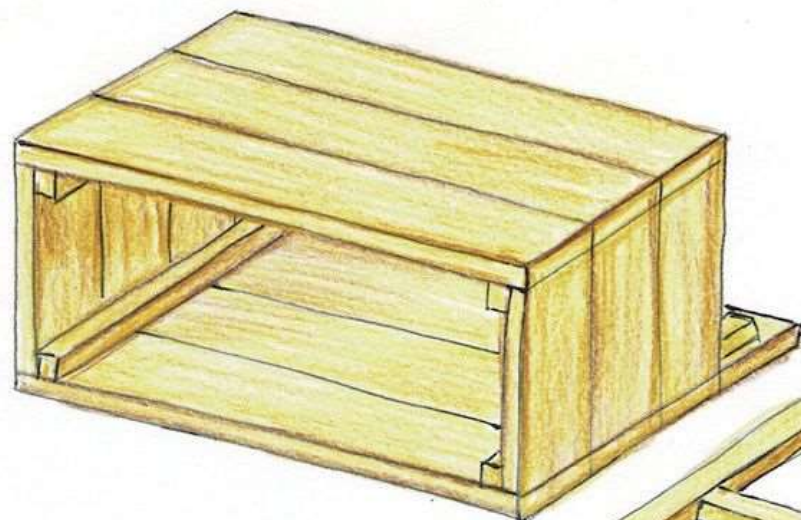


40

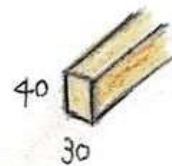


② 同様に3枚の板を角材にビスで止める。

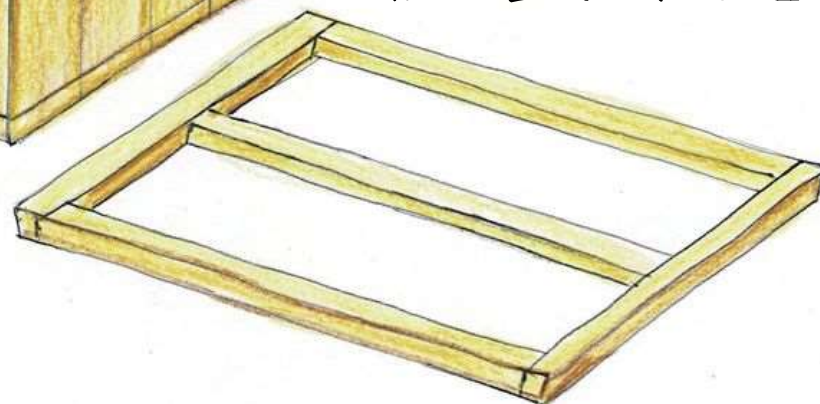
③ ①と②と直角になるように置き、ビスで止める。



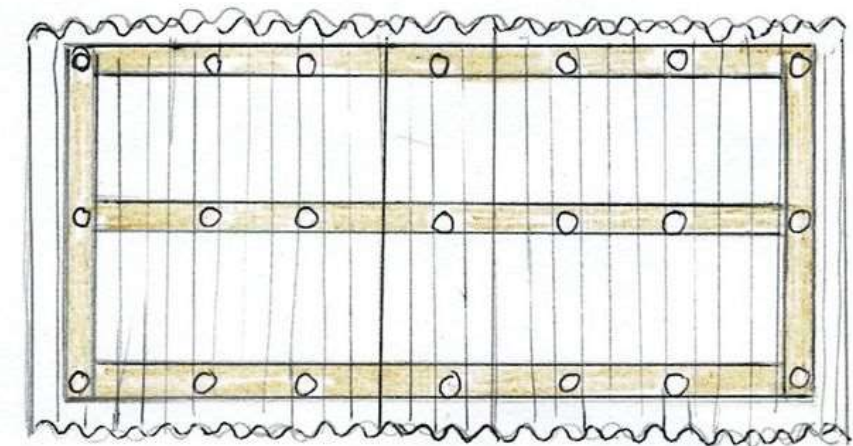
縦長に使う。



④ 屋根の枠を角材で組み立てビスで止める。



⑤ 透明波板(ポリカ)を傘くぎで取り付ける。屋根枠の上に真ん中で重ねて左右の波板がはみ出るようにのせる。



波板のカーブの山の所に傘くぎを打つ。

※傘をつぶさないように！

※スポンジはとらない。

← 重ねる →

⑥ 蝶つがい、屋根のストッパーをつける。

